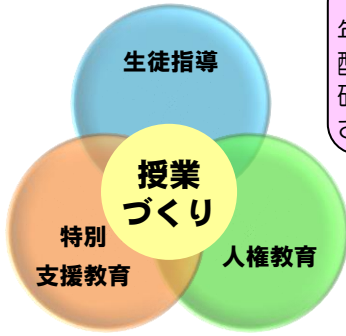


「授業づくり虎の巻」ができました！

授業づくりと**人権教育**、**生徒指導**、**特別支援教育**は別々のものでしょうか？実は、これらのものは、お互いに深く関わり合っており、けっして別々のものではありません。

現在、京築教育事務所では、教育指導室、教育相談室、人権・同和教育室共同で、「授業づくり虎の巻」リーフレットを作成しています。このリーフレットは、よりよい**授業づくり**について、**人権教育**、**生徒指導**、**特別支援教育**の視点から整理したものです。授業改善のポイントやそのための手立てが満載です。ぜひ、お楽しみに。

☆おは！授業づくりのポイント☆	人権教育の視点で見ると	生徒指導の視点で見ると	特別支援教育の視点で見ると
<p>① 授業づくりの目的を明確にする</p> <p>② 学習者の発達段階や学習スタイルを考慮する</p> <p>③ 学習者の興味・関心を喚起する</p> <p>④ 学習者の理解を深める</p> <p>⑤ 学習者の表現力を高める</p> <p>⑥ 学習者の協働学習を促進する</p> <p>⑦ 学習者の自己学習を促す</p> <p>⑧ 学習者の学習態度を育てる</p> <p>⑨ 学習者の学習成果を評価する</p> <p>⑩ 学習者の学習意欲を高める</p>	<p>① 人権教育の視点から授業づくりを行う</p> <p>② 人権教育の視点から学習者の発達段階や学習スタイルを考慮する</p> <p>③ 人権教育の視点から学習者の興味・関心を喚起する</p> <p>④ 人権教育の視点から学習者の理解を深める</p> <p>⑤ 人権教育の視点から学習者の表現力を高める</p> <p>⑥ 人権教育の視点から学習者の協働学習を促進する</p> <p>⑦ 人権教育の視点から学習者の自己学習を促す</p> <p>⑧ 人権教育の視点から学習者の学習態度を育てる</p> <p>⑨ 人権教育の視点から学習者の学習成果を評価する</p> <p>⑩ 人権教育の視点から学習者の学習意欲を高める</p>	<p>① 生徒指導の視点から授業づくりを行う</p> <p>② 生徒指導の視点から学習者の発達段階や学習スタイルを考慮する</p> <p>③ 生徒指導の視点から学習者の興味・関心を喚起する</p> <p>④ 生徒指導の視点から学習者の理解を深める</p> <p>⑤ 生徒指導の視点から学習者の表現力を高める</p> <p>⑥ 生徒指導の視点から学習者の協働学習を促進する</p> <p>⑦ 生徒指導の視点から学習者の自己学習を促す</p> <p>⑧ 生徒指導の視点から学習者の学習態度を育てる</p> <p>⑨ 生徒指導の視点から学習者の学習成果を評価する</p> <p>⑩ 生徒指導の視点から学習者の学習意欲を高める</p>	<p>① 特別支援教育の視点から授業づくりを行う</p> <p>② 特別支援教育の視点から学習者の発達段階や学習スタイルを考慮する</p> <p>③ 特別支援教育の視点から学習者の興味・関心を喚起する</p> <p>④ 特別支援教育の視点から学習者の理解を深める</p> <p>⑤ 特別支援教育の視点から学習者の表現力を高める</p> <p>⑥ 特別支援教育の視点から学習者の協働学習を促進する</p> <p>⑦ 特別支援教育の視点から学習者の自己学習を促す</p> <p>⑧ 特別支援教育の視点から学習者の学習態度を育てる</p> <p>⑨ 特別支援教育の視点から学習者の学習成果を評価する</p> <p>⑩ 特別支援教育の視点から学習者の学習意欲を高める</p>



リーフレットは来年度初めに全職員に配付する予定です。研修等でご活用ください。



特別研修「『個別的な人権課題』指導力アップ講座」がはじまります。



こんな悩みや心配はありませんか？

社会科の授業の中で、部落史をどのようにおさえていったらいいのだろう。

被差別部落の歴史をあまり理解していないから、指導に自信がないなあ…。



そこで・・・
安心して授業ができる
指導力を高めるために

本年度の特徴

小学校6年生の社会科(上)の教科書を題材として、被差別部落の歴史を、授業でどのようにおさえればいいのか、具体的な指導内容についての講義や演習を行います。



4月に募集を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

講座Ⅰ：5月15日(木)

講義

「中世～近世の部落史について」

講師 京築教育事務所人権・同和教育室



いずれか1講座のみの受講もOKです！

講座Ⅱ：8月26日(火)

講義

「解放令以降の部落史について」

講師 京築教育事務所人権・同和教育室

演習

「社会科の授業づくり」

京築教育事務所人権・同和教育室



あいのて

平成26年3月17日発行

発行：京築教育事務所

人権・同和教育室
(TEL：0979-83-3602)

タイトル「あいのて」は、がんばっている人には絶妙のタイミングで“合の手”を入れる、困った人には“愛の手”を差し伸べることができる、そんな人権・同和教育室でありたいと願ってネーミングしました。

はじめに

昨年度から発行を開始しました「あいのて」も、今回で6号となります。先生方に少しでも“あいのて”が届いていばうれしく思います。次年度も引き続き発行する予定ですのでよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の“あいのて”には、平成26年度の人権教育関係研修会等日程をはじめ、本年度実施しました人権教育推進状況調査結果（校内研修における個別的な人権課題の実施状況等）についてや、人権教育担当者等研修会でおこなった体験的・参加型学習の手法を掲載しています。

また、最終ページでは、教育指導室・相談室と共同で作成しました「授業づくり虎の巻」や来年度新たに実施します特別研修会「『個別的な人権課題』指導力アップ講座」を紹介しています。是非、ご一読ください。

平成26年度人権教育関係研修会等日程

平成26年度の人権教育関係研修会の日程をお知らせします。年間行事計画等にご活用ください。

●京築教育事務所人権・同和教育室主管研修会

平成26年 6月9日 (月)	14:00 ～ 16:50	校長・人権教育担当者等 合同研修会	みやこ町 豊津 公民館	○説明「人権教育の視点からの学校づくり」 ○実践報告「本校の人権教育の実際」 ○講話「今後の人権教育の推進の在り方」(仮題) 講師 大阪教育大学非常勤講師 土田光子さん
平成26年 9月3日 (水)	14:00 ～ 16:30	教頭人権教育研修会	京築教育 事務所	○説明「管内における人権教育の推進について」 ○講話「人権尊重の学校づくりに向けた教頭の役割」(仮題) 講師 立花高等学校長 齋藤真人さん
平成26年 12月11日 (木)	13:50 ～ 16:40	人権教育担当者等研修会	京築教育 事務所	○演習「人権教育推進計画作成のポイント」 ○実践発表「本校の人権教育の取組」 ○協議「本校の人権教育の成果と課題」

※ 校長人権教育研修会につきましては、平成26年度は実施いたしません。

●県人権教育研修会

平成26年 7月25日 (金)	1日開催	第1回 福岡県人権教育研修会 (人権尊重精神の育成)	福岡 市民会館	○午前：全体講演 ○午後：分散会 ※各校より1名以上の参加
平成26年 8月27日 (水)	半日開催 (午後)	第2回 福岡県人権教育研修会 (進路と学力の保障1)	福岡 市民会館	○全体講演 ※各校より1名以上の参加
平成26年 10月10日 (金)	半日開催 (午後)	第2回 福岡県人権教育研修会 (進路と学力の保障2)	築上町立 椎田 中学校	○研究発表会と同時開催 ・授業公開、研究発表、講演 ※各校より1名以上の参加
平成27年 2月17日 (火)	1日開催	第3回 福岡県人権教育研修会 (社会教育)	未定	○午前：全体講演 ○午後：分散会 ※希望参加

平成25年度人権教育推進状況調査結果より

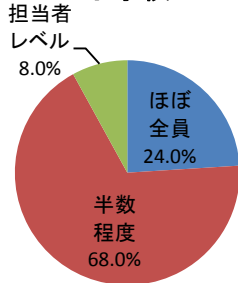
人権教育推進状況調査のご協力ありがとうございました。紙面の都合上、お知らせしたい項目や気になる項目に絞って紹介したいと思います。

まず、教育事務所として重点的に進めています、「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を表した構造図の理解については、「ほぼ全員理解できている」「半数程度理解できている」を合わせると、小学校で92%、中学校で75%という状況でした。

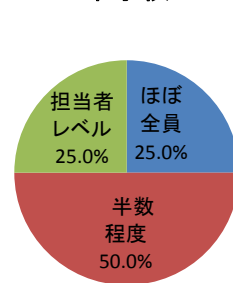
今後は、年度当初に必ず確認する等、「全員理解できている」に向け、校内研修の内容に加えていただければと思います。



小学校



中学校



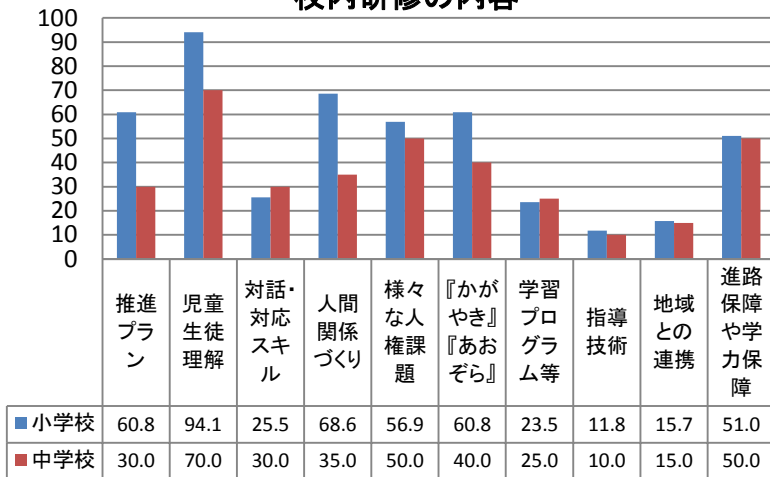
「人権が尊重される授業づくり10の視点」の共通理解・活用については、6割以上の小中学校が「すべての教科等の中で意識して取り組んでいる」という状況でした。

「授業づくり10の視点」の共通理解や活用状況	小学校	中学校
すべての教科等の中で意識して取り組んでいる	66.7%	60.0%
限定された教科等の中で意識して取り組んでいる	25.5%	20.0%
意識して取り組んでいるとはいえない	7.8%	15.0%
共通理解ができていない	0.0%	5.0%

「人権が尊重される環境づくり10の視点」についても97%と、ほぼ全校で周知していただいています。今後、活用方法についての研修や情報提供を行っていきたいと思います。



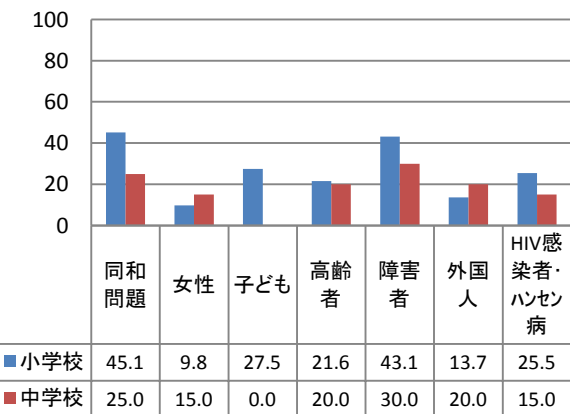
校内研修の内容



「校内研修の内容」を見てみますと、昨年度と同じく、小学校では「児童生徒理解」「人間関係づくり」の項目、中学校では「児童生徒理解」「進路保障や学力保障」の項目の数値が高くなっています。

反面、「学習プログラム等」「指導技術」の項目は昨年と同じく低い数値となっています。しかしながら、別の質問では、児童生徒に対して特に重点を置きたいところとして「児童生徒に自己存在感や肯定的自己イメージを持たせる」が小学校で68.6%、中学校で80.0%という高い回答でした。自己存在感や自己肯定感は、日々の授業の中で育成されます。そのためには、人権が尊重される学習プログラムや指導技術の研修を、是非、校内研修で企画していただきたいと思います。

人権課題についての研修内容



「福岡県人権教育推進プラン」や「様々な人権課題」に関する研修の割合は、小中学校とも昨年度に比べ、約5%増加していました。学校での取組の成果だと考えています。今後の推進もよろしくをお願いします。

一方で、初任者、10年経験者を対象にしたアンケート結果からは、同和問題、在日問題をはじめ人権課題に関する知的理解が不十分という現状が明らかになっています。このことはアンケート対象者に限ったことではないのではないのでしょうか。

また、部落史については、教科書の記述が小学校で平成12年度版から、中学校で平成13年度版から大きく変わっています。障害者問題についても合理的配慮の考えが求められています。他にも、児童虐待、デートDV、性的少数者、ホームレスなどの人権課題についても新たな知識を習得することが必要となっています。

これらのことを踏まえ、研修計画に「様々な人権課題」に関する研修を盛り込むなど、校内研修のさらなる充実をお願いします。

体験的参加型学習の活用事例 (平成25年度人権教育担当者等研修会より)

シリーズ：校内研修の改善・充実について

研修ですぐに使える手法！

「マンダラシート」を活用した研修の紹介

新しい手法の研修を体験できて楽しく進めることができました。

マンダラシートを使ったやり方は、各自の意見が分かりやすくてよかったです。



4人という小グループで話がどんどん飛び出しました。

この協議の手法は、今後の研修の仕方の参考になりました。

「平成25年度人権教育担当者等研修会」のアンケート結果より



研修プログラム例(60分)

(1) ねらいと準備

ねらい	教職員研修の充実に向けて、参加者がマンダラシートをもとにして意見交流し、具体的な取組について理解を深める。
準備	マンダラシート、付箋

「大切にしたいルール」

- ・ 自分と違う意見も否定せず、お互いに尊重し合います。
- ・ 話した内容は、他の場では言いません。

(2) 研修の流れ

① グループ編成、ウォーミングアップ、学習のねらい等の説明(5分)

- ア ねらいと研修の流れ、大切にしたいことについて確認する。
 イ 話しやすい雰囲気をつくるため、ウォーミングアップを兼ねて、「最近、うれしかったこと」を順番に言う。
 ウ グループの進行役、報告役を話し合って決める。

② グループで交流(40分)

- ア マンダラシートの中央に最初のテーマを書き込む。
 イ 各自テーマに関する取組を思いつく限り付箋に書いて、グループで交流しながらマンダラの同じ枠の中にまとめて貼る。

【第1段階】

- ウ それらの中から最も重要だと思われるものをグループで一つ選び、次のマンダラシートの中央に書き込む。
 エ その取組を実現するためにはどのような方法があるか、イと同じようにすすめていく。【第2段階】
 オ それらの中から最も重要で有効な取組であろうと思われるものをグループで一つ選ぶ。

③ 全体で交流(10分)

グループ毎に話し合った内容を報告する。

④ ふりかえり・まとめ(5分)

全体の進行役は、全体交流で出た意見をおりまぜながら、まとめを行う。

「マンダラシート」の手法のよさ

問題の解決を生み出すために、①問題の範囲を特定し、②解決策のアイデアを出し、③具体的な取組に落とし込む、というステップで行えます。これにより、課題の焦点化ができ、繰り返すことでより具体的な手立を共有することができ、効果的な協議が展開されます。

「テーマ例」

- 校内推進体制の確立
- 教材集等の充実
- 人権を尊重した教育活動の展開
- 家庭・地域との連携
- 教職員研修の充実

「福岡県人権教育・啓発基本指針」より

【第1段階】

グループ協議	当事者の話を聴く	視聴覚教材の活用
フィールドワーク	教職員研修を充実させるためには	
講師を招聘する		

【第2段階】

	グループ協議を行うためには	

体験的参加型学習の活用事例 (平成25年度人権教育担当者等研修会より)

シリーズ：校内研修の改善・充実について

研修ですぐに使える手法！

「マンダラシート」を活用した研修の紹介

新しい手法の研修を体験できて楽しく進めることができました。

マンダラシートを使ったやり方は、各自の意見が分かりやすくてよかったです。



4人という小グループで話がどんどん飛び出しました。

この協議の手法は、今後の研修の仕方の参考になりました。

「平成25年度人権教育担当者等研修会」のアンケート結果より



研修プログラム例(60分)

(1) ねらいと準備

ねらい	個別的な人権課題について、参加者がマンダラシートをもとにして意見交流し、具体的な取組について理解を深める。
準備	マンダラシート、付箋

「大切にしたいルール」

- ・ 自分と違う意見も否定せず、お互いに尊重し合います。
- ・ 話した内容は、他の場では言いません。

(2) 研修の流れ

① グループ編成、ウォーミングアップ、学習のねらい等の説明(5分)

- ア ねらいと研修の流れ、大切にしたいことについて確認する。
 イ 話しやすい雰囲気をつくるため、ウォーミングアップを兼ねて、「最近、うれしかったこと」を順番に言う。
 ウ グループの進行役、報告役を話し合って決める。

② グループで交流(40分)

- ア マンダラシートの中央にグループで選んだ最初のテーマを書き込む。
 イ 各自テーマに関する取組を思いつく限り付箋に書いて貼り、グループで交流しながら分類する。【第1段階】
 ウ それらの中から最も重要だと思われるものをグループで一つ選び、マンダラシートの中央に次のテーマを書き込む。
 エ その取組を実現するためにはどのような方法があるか各自付箋に書いて貼り、グループで交流しながら分類する。【第2段階】
 オ それらの中から最も重要で有効な取組であろうと思われるものを一つ選ぶ。

③ 全体で交流(10分)

グループ毎に話し合った内容を報告する。

④ ふりかえり・まとめ(5分)

全体の進行役は、全体交流で出た意見をおりまぜながら、まとめを行う。

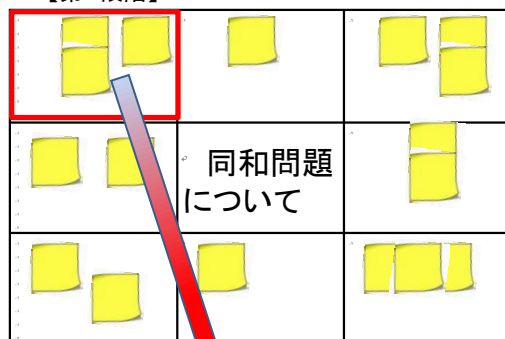
「マンダラシート」の手法のよさ

問題の解決を生み出すために、①問題の範囲を特定し、②解決策のアイデアを出し、③具体的な取組に落とし込む、というステップで行えます。これにより、課題の焦点化ができ、繰り返すことでより具体的な手立を共有することができ、効果的な協議が展開されます。

「テーマ例」

同和問題、女性、子ども、高齢者、障害者外国人、HIV感染者・ハンセン病元患者刑を終えて出所した人、犯罪被害者等インターネットによる人権侵害、その他
 「福岡県人権教育・啓発基本指針」より

【第1段階】



【第2段階】

